

がんの基礎知識シリーズ③

〈胃がん〉

〈どんな病気?〉

胃がんは、男女合わせて日本人が最も多くかかっているがんです。しかし、診断や治療の進歩により、早期発見をすればほぼ完治が見込める「治りやすいがん」でもあります。胃がんの発生に大きな関係があると考えられているのが、塩分のとり過ぎとタバコです。

〈症状は?〉

胃痛、胸焼け、吐き気などの症状がみられます。しかし、胃炎や胃潰瘍でも同じような症状が出るため、これらの症状だけで胃がんの判断をすることは難しいです。がんが進行すると、吐血や下血(黒い便)があらわれます。貧血による動悸・息切れ・めまい、あるいは腰痛や体重減少をきっかけに発見されることもあります。

〈検査方法は?〉

・胃レントゲン検査
バリウムと発泡剤を飲み、胃の形や粘膜を観察します。胃がん検診で実施されている検査です。
・胃内視鏡検査(胃カメラ)
内視鏡を口または鼻から入れ、胃の中を直接観察しま

す。胃レントゲン検査で異常のあった場所をさらに詳しく調べていきます。必要な場合は、胃の粘膜を一部切り取って、組織を調べます。

〈胃がんを予防する生活習慣とは?〉

- ・塩分を控える
- ・野菜や果物をとる
- ・バランスの良い食事をする
- ・熱すぎるもの、辛すぎるものはとらない
- ・肉や魚の焼くこげを食べない
- ・食べすぎ、早食いに注意する
- ・アルコールはほどほどにする
- ・タバコをやめる

大切なのは、胃の粘膜を傷つけないことです!



笠間のがんばる企業紹介③5

市内で活躍する企業を支援するために結成された「笠間市がんばる企業応援連絡会」。このコーナーでは、連絡会に加入している企業の皆さんを紹介いたします。

キャニオン株式会社

窓ガラスに洗剤を吹き付け、植物に霧をかける。そんな時に欠かせないのが、トリガー式スプレーヤーです。スプレー缶などのエアゾール製品に比べ、安全で環境にやさしいため、日常生活の多くの場面で利用されています。

東京都品川区に本社を構えるキャニオン株式会社は、トリガー式スプレーヤーの分野において、多くのシェアを誇る企業です。笠間市飯田地内にある茨城工場の西川 茂明工場長補佐にお話を伺いました。

「貴社の製品の特徴を教えてください。」

シンプルでありながら、機能性やデザイン性が優れている点だと思います。当社のスプレーヤーの中には、製造開始から25年以上が経った現在でも、形を変えずに作り続けているものも



キャニオン株式会社の製品

あります。大量生産・大量消費の時代にあって、これは珍しいことではないでしょうか。

「工場長補佐は34歳とのことですが、若い方が多いですね。」

茨城工場で働く社員の平均年齢は、20代後半です。年齢に関係なくチャンスが与えられるのは、当社の企業風土といえるかもしれません。おかげで新しい提案やアイデアがたくさん寄せられ、業務の改善に役立っています。

「茨城工場としての目標は。」

当社の経営理念の中に、『得意先を成功させよう』というものがありません。お客様はもちろん、取引業者さんや地域の方など、工場に関わるすべての人を幸せにできたら素晴らしいと思います。凶々しいかもしれませんが、地域の皆さんにとって『憧れ』や『誇り』となるような工場が目標です。

「キャニオン株式会社 茨城工場」

HP: <http://www.canyon-corp.com>

所在地: 笠間市飯田418

従業員数: 42人(全社150人)

※文責▽笠間市役所企業誘致推進室(内線214)